

競技者注意事項

この大会は、2025年（財）日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により行う。

1. 招集は、全て競技者係の指示に従うこと。

- ①競技者の招集は、現地招集とする。トラック競技については競技開始15分前、フィールド種目については競技開始25分前までに試技場所に集合すること。またリレーについては、各区間のスタート位置に集合すること。
- ②四種競技は、すべての種目の競技開始15分前までに各競技場所に集合すること。
- ③各競技場所の招集時間前までにいなければ棄権とみなすので注意すること。
- ④競技が重複して出場する競技者は、その旨を審判員に申し出て、棄権にならないよう注意すること。フィールド競技からトラック競技に移動する際は、必ずその競技の審判員に断ってから移動すること。
- ⑤リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに本部（記録員）に提出すること。なお、一度提出したオーダーの変更は（ケガなどで競技不可能となった時以外）認められない。リレーオーダー用紙はプログラムに同封しているものを使用する。
- ⑥競技を棄権する場合は、本部（記録員）に申し出ること。

2. 走路順・試技順

- ①プログラム記載通りとする。
- ②トラック競技の決勝のレーンは本部記録で決定する。

3. トラック競技

- ①スタートについては、競技規則TR16.5.3は、本大会では適用せず、注意を与えるものとする。
- ②男女800mのスタートはオープンで行う。
- ③100m、200m、100mH、110mHについてゴール後、自分のレーンのゴールに1度戻り、計時、決勝審判員の指示に従って退散すること。

4. フィールド競技

- ①走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
 - ・男子走高跳（練習 1m15） 1m20～1m50まで5cm上げ。以後、3cm上げ。
 - ・四種男子走高跳（練習 1m05） 1m10から3cm。
 - ・女子走高跳（練習 1m05） 1m10～1m30まで5cm上げ。以後、3cm上げ。
 - ・四種女子走高跳（練習 1m00） 1m00から3cm
- ②練習の高さについては、選手の状況に合わせ2段階で練習を行う場合がある。
- ③アスリートビブスは胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部のみでもよい。

5. 練習について

- ①8時30分まで、本競技場での練習を認める。
- ②ウォーミングアップは競技に支障にならないようバックストレートと外側トラックを利用のこと。ただしバトン以外の器具の持ち込みは認めない。
- ③砲丸投に出場する選手については練習用の砲丸を各自持参すること。
- ④競技場外のグラウンド（町民野球場）などの施設を使用しないこと。
逆走は大変危険なので、絶対に行わないようにすること。

6. スパイクシューズについて

- ①本競技場はシンダー（土）であるので、ピンはシンダー用とする。
- ②靴底については、以下の通りである。
トラック競技：20mm フィールド競技：20mm

7. その他

- ①その競技に参加の選手以外は競技場内に入ることはいけません。
- ②表彰伝達は行わない。各種目6位以内（リレーは3位まで）の入賞者は、賞状を学校ごとに本部へ受け取りに来ること。
- ③悪天候（雷など）の場合、日程変更や中止等もあり得る。